

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年12月21日

## 【評価実施概要】

事業所番号	4271401962		
法人名	(有)山崎グループ		
事業所名	グループホーム 恵の里		
所在地	〒859-2206 長崎県南島原市有家町中須川433 (電話) 0957-82-8900		
評価機関名	特定非営利活動法 人口ーカルネット日本福祉医療評価支援機構		
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島二丁目7217島原商工会議所1階		
訪問調査日	平成19年12月17日	評価確定日	平成20年1月23日

【情報提供票より】(19年 4月 1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 16年 7月 1日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9人
職員数	9 人 常勤 7 人, 非常勤 2 人, 常勤換算 6.4人

### (2) 建物概要

建物構造	木造造り
	1階建ての 階 ~ 1階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	9,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有( 円)	(無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	250 円	昼食	250 円
	夕食	400 円	おやつ	0 円
	または1日当たり 円			

### (4) 利用者の概要(4月 1日現在)

利用者人数	9 名	男性	3 名	女性	6 名
要介護1	1 名	要介護2	1 名		
要介護3	1 名	要介護4	6 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 79 歳	最低	60 歳	最高	89 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	池田病院 松島歯科医院 泉川病院 明島整形外科 菜の花クリニック
---------	----------------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームが持っている畑で、入居者と共に、野菜などの世話をするなど、共に支え合う関係に役立てられている。また、鶏舎にニワトリを飼われたり、飼い犬とも和めるなど、穏やかな雰囲気がある。ホームの近くには、大型スーパーがあり、買い物等の利便性にも優れている。建物のすぐ隣には、管理者家族が交代で泊まられており、夜間も夜勤者と共に、対応できるように心がけられている。又、おいしい食事をとっていただきたいという意向があり、栄養バランスも栄養士の方に毎月確認を取るなど、入居者の身心に気を配られている。又、調理師でもある管理者が、畑で採れた野菜や、新鮮な卵を利用した料理をつくれ、入居者にも喜ばれている。地域に対しても、管理者はじめ職員は、清掃運動にも率先して参加し、現在、地域の方が入居者を銭湯に連れて行って下さるなど、協力的に対応していただいている。理念でもある「笑顔・優しさ・真心」をもって、入居者と家族のように、心通じ合う温かい介護を目指されたホームである。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の外部評価結果を基に、改善計画シートを作成されている。取り組みとしては、感染症やウイルス対策のために、手洗いやうがいのマニュアルを作成されるなど、出来ることから取り組まれている。便りについては、遠方のご家族がおられない事や、会議には、ご家族がほとんど寄り合ってください、写真やビデオで入居者の様子を知らせたり、ご家族の要望なども、その折に聞いているとのことで、発行されていない。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者を中心に、職員会議の際に全職員で取り組まれている。今回の評価項目の内容が汲み取ることが困難であったとのことだが、真摯に対応されている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	2ヶ月に1度、定期的に運営推進会議が行われている。討議内容は、入居者の健康状態や日々の活動の報告、次回の予定の確認が中心である。また、今後は入居者の暮らしをさらに支えるために、運営推進会議の参加者を、様々な分野の方にお願ひし、参加を促すなどの取り組みを予定されている。その際は入居者のプライバシー・個人情報保護には十分に配慮することなどが、求められることを自覚されている。又、会議は、外部評価のモニター役の機能を果たしつつある。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	入居者の様子は、面会時やほごご家族が参加される、運営推進会議・家族交流会などを通じて知らせておられる。状態変化などは、随時電話連絡を入れるなど、確実に報告されている。入居者のご家族の意見は、交流会や運営推進会議等を通じて尋ねられている。苦情等も書面で報告先等を示されている。高齢のご家族の面会においては、希望があれば、ご家族を車でホームまで送迎されるなどの、手厚い対応をされている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域の清掃日には、管理者が前日から参加されるなど意欲的に活動されているため、地域の方が、畑を耕す手伝いをして下さる。また、地域のお祭りにも参加され、その折には、入居者がつくられた手ふきを神社に奉納されている。入居者が外に出て行かれた時にも、地域の方の見守り等で、入居者の安全を守る等、地域との連携がなされている。

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念は「心の通じ合う温かい介護 笑顔・優しさ・真心 衣食住の安心と安全」となっている。これは、入居者の心を探る姿勢を大切にされ、地域の方と共に安心と安全な生活を目指されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者をはじめ全職員は「笑顔・優しさ・真心」を理念の実践の中心に考えられ、入居者の心豊かに生活できるよう、日々のケアの実践に取り組まれている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の清掃日には、管理者が前日から参加されるなど意欲的に活動されているため、地域の方が畑を耕す手伝いをしてくださる。また、入居者が外に出て行かれた時にも、地域の方の見守り等で入居者の安全を守る等、地域との連携がされている。今後、婦人会を取り込んだ活動も検討しておられる。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価結果を基に、改善計画シートを作成されている。また、自己評価も管理者を中心に、職員会議の際に全職員で取り組まれた。評価を通して入居者の健康面を守るため、徹底した感染症対策等に取り組まれている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度、定期的に運営推進会議が行われている。討議内容は、入居者の健康状態や日々の活動の報告が中心である。意見が出た際には、随時対応するようにしている。推進会議の意義や外部評価の結果等も議題に上げ、サービス向上に活かしている。		

グループホーム 恵の里

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村担当者へは、管理者が中心になって対応されており、疑問点はすぐに尋ねて情報を得ている。また、介護情報等は当ホームの非常勤務者に詳しい、スーパーバイザーがおられ、全員で質の向上に取り組まれている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	入居者のご家族には、面会時や運営推進会議などで、日々の暮らしぶりやご家族が気に掛けている内容等を報告されている。金銭に関しては、立て替え後に領収書のコピーを利用して、ご家族に伝えるなど、管理されている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営に関する意見は、ご家族が参加される運営推進会議・家族交流会などを通じて尋ねられている。また、苦情等も書面で報告先等を示されている。ご家族の要望として、廊下の突き当たりにある避難口をスロープにしてはどうかとの意見があり、現在検討されている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	当ホームでは、職員同士のコミュニケーションを大切にされているために、1年間ほど職員の異動がない。また、離職される場合でも突然退職するのではなく、出勤の期間を調整するなど、入居者の事を考え、ダメージが少ないように工夫されている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者や管理者は、職員を育てたいという意志があり、また、職員も「認知症の理解と認知症ケアの実践」の習得を求めている等、研修を受けようという意欲は高い。そのため、職員が全員参加のホーム内研修会をするなど、働きながらトレーニングされている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会に参加し、他のグループホームの管理者を通じて話し合う等、ネットワーク作りを意識した取り組みを努力されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>まず入居希望のご家族には、当ホームへ足を運んで頂き、ホームの雰囲気や利用する際の情報を伝える。その後、入居予定者に遊びに来て頂く等、徐々にホームに馴染んでもらうように工夫されている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>理念の中心が、心通じ合う事を目指されている事もあり、野菜の作り方や朝夕の水まき、梅干しの付け方など様々な事を通して、心を互いに通わせる関係を職員は築いている。入居者を母のように慕い、色々な知恵を教えていただき、学び取っている場面も見られた。</p>		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>当ホームでは、毎年ADLを見直して、現状を把握している。また、職員は日勤・夜勤とそれぞれの記入用紙を用いて、入居者の意向を記録されている。しかし、記録の方法に課題を持たれ、現在書式を検討されている。</p>		<p>入居者の暮らしぶりが記入から見えるが、ケアプランに繋がる入居者本人の意向の記録が把握しづらい。当ホームにあった書式を作成中とのことなので、意向の把握に繋がる書式作りと記入方法に期待する。</p>
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>入居者に関する様々な方の意見を総合し、その人らしく暮らせるための具体的な介護計画を作成されている。また、ご家族等にもサインをいただき、その都度、意見を反映させるようにされている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画は長期・短期目標があり、期間に応じて見直しがなされている。しかし、入居者の状態に大きな変化は見られないために、介護計画がそのまま継続として続けているため、新たな計画を作成しているとは言い難い。</p>		<p>入居者の状態に変化がないようならば、介護計画の視点を変えてみたり、変化の兆しに、予防的に対応していくための工夫をされ、現状に即した新たな計画を作成されることに期待する。</p>

グループホーム 恵の里

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	病院への送迎や介助、また、入居者のご家族も当ホームまで送迎される等、事業所の多機能性を活かした支援をされている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医への送迎や介助の際に、通院記録などの報告書を作成され、情報伝達が間違いなく伝わるように工夫されている。また、医療連携の医師が毎週ホームまで来てくださるなど、入居者の安全な暮らしを支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期に向けたあり方については、書面で当ホームの指針を示されている。また、ご家族にも説明してあり、納得を頂いている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報が載せてある書類は、特定の場所に保管するように注意されている。言葉かけや対応は、入居者に応じて呼びかけを工夫されている。また、運営推進会議での利用者状況については、会議録と共に個人名、個人と特定されるような表現には十分な配慮が必要と自覚され、今後の参加メンバーへの促しにも十分に配慮されるとのことである。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者の生活歴を利用して、踊りから農作業など、その人らしく楽しみながら暮らされている。歩行訓練はマイペースに行われたり、入浴をしたくなければ次の日に入っていただくなど無理強いはされない。また、自宅まで帰ってみようとする方には、さり気なく見守りながら、歩くだけ歩いていただき運動量確保にもつなげている。		

グループホーム 恵の里

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の配膳をして頂き、また入居者の方がつくられた新鮮な野菜を調理するなど、楽しく食事されている。食後の茶碗洗いを、入居者は職員と極自然にされており。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入居者個々に、週2日以上入浴されている。体調や希望に応じては、毎日の入浴も可能であり、入浴拒否の場合でも足浴や清拭などで対応されている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	体を動かしながら、生活歴を自然に尋ね、その情報を基に、入居者一人ひとり、家庭菜園、わら草履作りや漬物づけなどの得意な事をしていただき、それぞれの持つ力を発揮できるように支援されている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	畑仕事等を利用して外出支援をされたり、ドライブや散歩などで外に出てリフレッシュされるよう努められている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は、鍵を掛けることはない。入居者が突然一人で外に出られた際でも、職員の見守りや地域の方のさり気ない声かけで鍵をかけることの弊害を防いでいる。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防火訓練などは、様々なシミュレーションを想定されて訓練されている。しかし、地震等の災害はまだ想定されていない。		今後は、地震などの災害にも対応すべく、広域避難場所・備蓄などのライフラインの確保、離れた地域にいるご家族への連絡方法、地域住民の協力をさらに求められることに期待する。

グループホーム 恵の里

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の摂取量や栄養バランスは、栄養士を通じて毎月確認されている。また、水分量なども記録されており、一人ひとりの状態を把握されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は、畳の間やリビングのソファなど、くつろげるように配慮されている。温度も湿温度計を利用して、適正な温度を保たれている。また、庭にもベンチが用意されており、気候の良いときには、日向ぼっこが出来るなど、居心地の良いように工夫されている。日差しが気になる場合は、短い別カーテンを用意されており、陽射しの調整がされている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室にはテーブルやイス、仏壇や鏡台まで、入居者本人が使い慣れた物を活かして、居心地の良いその人らしい部屋になっている。		